

平成 28 年度 第 2 回西区自治協議会会議録

日時：平成28年5月30日（月）午後3:00～4:40

会場：西区役所健康センター棟1階大会議室

< 1 開会 >

< 2 議事（1）部会の状況報告（通常部会・特別部会） >

（岩協会長）

28年度第2回目の自治協議会でございます。それでは議事に入りたいと思います。（1）部会の状況報告でございます。概要を各部会長より簡潔に報告していただきたいと思っております。それでは第1部会長からお願いいたします。それでは第1部会、笠原部会長、お願いいたします。

（笠原第1部会長）

第1部会は第2回の会議を5月9日月曜日、午後3時30分から303会議室で行いました。出席者は記述のとおりです。

議事の一つ目、公開授業についてですが、青山小学校との打ち合わせ結果について、部会長から説明がありました。青山小学校での公開授業は、9月24日土曜日を実施予定とし、50分程度の授業時間を設け、内容をつめていくこととしました。また、5・6年生、地域住民が同一の会場で聴講できるよう会場設定することとしました。講師は危機管理教育研究所の国崎信江講師に依頼することとしました。その他、委員から出された主な意見は下記のとおりです。

議事の一つ目、防犯についてです。新潟西警察署生活安全課生活安全係の廣野係長から地域全体の犯罪や防犯の取り組みについて説明がありました。委員より、自治防犯会長の表札設置の選定方法について、また、防犯カメラの設置基準について質問があり、後日資料を提供いただくこととなりました。

次回、平成28年第1部会の開催日程は、6月6日月曜日、午後3時30分より。議題は公開授業についてです。以上です。

（岩協会長）

ありがとうございました。ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。なければ続きまして、第2部会の報告をお願いいたします。

（郷第2部会長）

第2部会の報告をさせていただきます。所管分野は保健福祉・文化・教育などです。2

回目の部会は、5月18日の午後3時～5時、健康センター棟105会議室で行われました。出席者は、以下のとおりです。

一つ目の議事、平成28年度高齢化をテーマにした講演会企画について。9月に行う講演会の構成やテーマについて、講師側との調整を図りながら、下記の通りすすめることとしました。9月11日13時30分より、西新潟市民会館を会場としまして行います。講師は、諏訪中央病院名誉院長の鎌田實氏です。テーマは、最初基調講演のテーマは「地域で命を支える～地域包括ケア・健康・絆を考える～」。これが、講師の方から事務局との打ち合わせの中で決定されたテーマです。この中で、私たち部会の委員が話をしていた地域包括ケアにおける在宅支援のあり方、それについて一般市民が出来る事とか住民に期待されることを、お聞きしたいなという風なこともお伝えしてあります。頑張りすぎないでみんなで一緒に頑張る、いい加減がいいと言ったメッセージを高齢者の皆さんに発信して元気が出るような講演にしていきたいと思っております。休憩を10分程度挟みまして、第2部のパネルディスカッション本州東日本西区長サミットに入っていきます。パネルディスカッションのコーディネーターとして、鎌田先生に入ってください、全体で70分程度。最後まとめとして、質疑応答含め15分程度の内容となっております。この構成を踏まえて、パネルディスカッションとの連携を図りながら6月の部会において、企画書案の検討・審議を行うこととしております。委員から出された意見は記載のとおりです、お読みください。

二つ目の議事、自主学習会というか第2部会の委員のみんなで共通理解するっていうことで、西区における図書館の取組みについて、図書館長よりご説明いただきました。利用者視点からの活用術、西区図書館の取組みなど、資料に基づき丁寧な説明がありました。地域課題の検討や、様々な地域活動を行う上で貴重な機能を持つ図書館サービスなどについて、見識と理解を深めました。委員から出された主な質問は下記のとおりです。坂井輪図書館の蔵書数について、今ある蔵書数は分かるのですが、最大どのくらい入るのだろう、というような質問も出ました。また、延べ床面積に限界があるということと、坂井輪図書館は、2階・3階に跨っていて、少し使い勝手が悪いのではないのかな。すぐには出来ないのですが、平面利用できるような施設があれば、それが一番良いというようなお話が出ました。今の段階だと、6万5千冊程度が限界だそうです。今現在は、5万7千冊あり、新刊も含めて徐々に増やしていきたいというようなお答えをいただきました。

また、自治会等に貸出も可能なのでしょうかという質問に関しては、団体貸出制度により対応可能だそうです。また図書館自体が、いろいろな地域イベントに出張図書館としてもあちこち出向いているという活動をしていることも、みなさんにとってはすごい新鮮な情報でした。図書館利用を行う年代別の登録率の分析はあるのかという質問がありました。というのは、高齢者は図書館を利用しているだろうけど、若い人たちの図書館離れの状況があるのだろうかということをお聞きしたいということでした。これについての解答は後日ということで、回答がいただけることになっております。

その他、今年度取り組む「スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業」についての意見交換を行い

ました。子ども達への体験会を基本としまして、開催時期や会場を含め、次回の部会で検討することとしました。ライセンスを習得する講習会というのは、やはりちょっと自治協で主催していくのは少し1回目もやってある程度広がっているの、それよりも子ども達中心の体験会をして、あちらこちらにスポーツ鬼ごっこをやっていたらいいというふうなことを考えております。また、昨年のライセンス習得会を踏まえて、今年度いくつかのスポーツ振興会の今年度事業の中に、スポーツ鬼ごっこに入っているところが西区では見られているというような嬉しい情報もいただきました。

次回の議題テーマとしましては、地域包括ケアの中で、西区における医療の取組状況と、自治会等における生活支援の取組状況について、時期を捉え、検討していきたいという話になりました。というのは、地域包括ケアが話されていますが、今支えあいの協議体の方では、生活支援についてすごく話されている。でも、地域包括ケアの中では、在宅医療への取組みも決して忘れはけないことなので、二つの状況について、西区ではどの程度進捗しているのかというふうな情報がほしいという委員からのお話でした。

次回の第2部会の開催日程です。6月7日火曜日午後1時30分より、西区役所303会議室です。議題は、28年度スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業についてほかです。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございます。ただいまの報告について、何かご意見、ご質問等がございませんでしょうか。

(広瀬委員)

関連の質問でもよろしいですか。

(岩協会長)

関連でもいいですけど、なるべく早くお願いします。

(広瀬委員)

若者の図書館離れという文言があったものだから、これについては、後日回答というふうに書いてあるので、いいんですけども、私の質問は、西区内で図書館というか、ひまわりクラブの図書館とか色々な図書館を含めて、どの位西区にそういう本を借りれるような所がどれだけあるのかを聞きたいなと思いました。

(岩協会長)

はい、分かりました。図書館長がよろしいのかな。大体把握している数だけでもおおよそでも結構です。

(辰口坂井輪図書館長)

西区の中に図書館・本が借りれる場所として図書室があります。図書館が坂井輪・内野・黒埼の3つありまして、地区図書室という小さいところが、そちらが全部で7つあります。青山コミュニティハウス、小針地区図書室が坂井輪コミセン、真砂、黒埼北部、西内野これが西コミセンにあります、赤塚と中野小屋、連絡所の中にございます。これで7つかと思います、よろしいでしょうか。

(岩協会長)

はい、ありがとうございました。広瀬委員よろしいでしょうか。他に何かご質問は。坂井委員お願いします。

(坂井委員)

西区には新潟大学がありまして、実は新潟大学図書館があつて、鍋谷先生が週に2回通つてるそうです。私は新潟大学に通っていたんですけど、1回も行ったことがなくて、鍋谷先生からお聞きして行ってきました。初めて。160万冊本があつて新潟市の方とリンクしているから借りられるのです。それであの、160万ていうのはみんなあるのかと思ったら、まだ無い本もあつて、本当にいっぱい出てるなと思いましたが、そういう意味でいうと、ちょっと足を伸ばしてあそこまで行くと、誰でも入れるようですから、大いに利用できて事。補足でした。

(岩協会長)

ありがとうございました。はい、小林委員。

(小林満男委員)

新潟国際情報大学の小林と申します。私どもの大学の方でも、地域の皆さま窓口の方へ来ていただければ。ただし、日曜日は開館してないです。よろしくをお願いします。

(坂井委員)

新大は土日はダメなんですか。

(鍋谷委員)

いいえ、大丈夫です。土日も開館しています。

(岩協会長)

はい、ありがとうございました。付け加えて新潟大学と国際情報大学でも利用できるということでございます。他にご質問・ご意見等はございますか。なければ、第3部会の報

告をお願いします。

(塩川第3部会長)

第3部会です。第2回会議は5月12日午後3時～午後3時45分。会場は303会議室。出席者は記載のとおりです。第3部会は、特に西区の特産品カレンダー、もうひとつは商店街等活性化研究を行っています。

主な議事を申し上げます。2017西区の特産品・観光地カレンダーについて、第1回カレンダーワーキングチームの内容についてリーダーの永吉委員より説明があり、カレンダーの掲載内容、構成等を下記のとおりすすめることとしました。効果的な広報媒体とするため、巻末のページの情報を充実します。2016西区ふれあいカレンダー掲載の西区ガイドマップを見やすくするため、拡大して掲載し、西区おすすめ特ダネ情報を継続して掲載いたします。西区特産の野菜を使ったレシピ、美味しい野菜の見分け方を掲載。公募写真の紹介（撮影者のコメント、撮影場所の紹介）。西区かがやき大使（PR大使）に関する事項も掲載。食文化PRのため、2016西区ふれあいカレンダーで使用了区の特産にちなんだキャラクターを、一部食べ物をモチーフとしたキャラクターを追加（ブロッコリーなど）。巻末ページ充実に伴い印刷コストが増加するため、表紙は2016西区ふれあいカレンダーと同質の厚紙とし、中はより薄手の紙としてコストダウンを図る。また、事務局より公募写真の応募状況について報告がありました。

議題の2、商店街等活性化研究・実践事業について、事務局より事業実施に当たり連携を予定する新潟大学及び新潟国際情報大学の研究メンバー案について報告がありました。新潟大学は現代社会文化研究科雲尾周准教授及び学生3名。新潟国際情報大学は情報文化学部情報システム学科藤田美幸准教授及び学生4名。5月本会に向けて、別紙企画案について確認しました。次回開催は6月20日の月曜日、3時30分より健康センター105会議室、議題は2017西区の特産品・観光地カレンダーについてです。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの第3部会の報告について何かご質問、ご意見等がございますか。はい、村井委員をお願いします。

(村井委員)

青山コミ協、村井と申します。今説明を聞きながらふと思ったことで申し訳ないんですけど、西区で商店街といわれる地域はどこどこを言われているのかなど。把握されていれば聞かせてもらいたい。

(岩協会長)

はい。今、西区でおかれている、西区拠点商店街活性化という継続事業をやっておられ

るんですけれども、これについては黒埼と内野ということになってはいますが、まだ他にありますでしょうか。農政商工課長。

(小栗農政商工課長)

農政商工課の小栗です。商店街という名称がつくのは確か浦山にもございます。内野と黒埼はあるんですが、その3か所かなと思います。ただし、商工会が黒埼と内野と赤塚にございますが、今回こちらの方で計画を作って拠点事業活性化ということで、活性化に重点を力を注ぐというふうにしているのは、内野と黒埼ということです。あと、坂井輪商工振興会というのが坂井輪地区にございます。

(岩協会長)

はい、よろしいでしょうか。この前、市長トークのときも、坂井委員と私の方でもっともって西区についての商店街活性化について取り組んでおられますかというのを、市長の方からもご協力を願いたいということで、ちょっと農政商工課長には皮肉めいた事を私個人的に言ってしまったんですけれども、私どもの方でも一生懸命活性化について取り組んでいかないと地域がさらに減る一方ですからこういう情報というのは共有して取り組んでいただきたいと思います。それでは、第3部会から追加どうぞ。

(塩川第3部会長)

第3部会の議題2の活性化の件について、本会議において是非企画案について承認いただければと思います。

読ませていただきます。平成28年度西区自治協議会提案事業、商店街等活性化研究・実践事業(案) 1. 目的及び概要。「西区拠点商業活性化推進事業計画」に規定する商業活性化に向けた個別事業等において、スケジュールの都合やマンパワーの不足等により未実施となっている事業の中から、商工会など関係機関等との意見交換により1つの事業を選定し、その実践に向けた研究を区内に存し地域性を把握しうる2つの大学と連携して行う。実践にあたっては、商店街への現地調査、関係機関との意見交換などを踏まえながら大学の英知と学生ならではの若者の視点を生かし、モデルプランとして具体的な事業計画の企画書作成を大学に委託し、協働して商店街・商工回答関係者へ提案を行う。2. 対象地域。内野地域商店街。米印、新規事業につきモデル的实施として内野地域の商店街で実施。今後、その効果を検証して対象地域の拡大などを検討していく。3. 連携する大学。新潟大学、新潟国際情報大学。4. 手法等。調査・企画書作成業務として各大学へ委託。5. 事業費、最高限度額です。委託費250,000円、2大学分として。各校125,000円。現地調査費、部会打合せ等です。スケジュールは記載のとおりです。以上です。

(岩協会長)

はい、ありがとうございました。今、説明がありました第3部会からの商店街等活性化研究・実践事業の企画書案について、このとおりすすめてもよろしいでしょうか。皆さんにご意見をお願いします。先ほども言いました、新潟大学准教授他3名と国際情報大学から5名の准教授入れて学生も協力を得ています。また、この内容については内野の商店街、商工会及び暖簾会等々についてもご意見賜れるようになっていましたね、塩川さん。ということで、関係機関とも綿密に連絡を取り合っていきたいと思います。はい、大谷委員お願いします。

(大谷勇委員)

その実践事業でありますけれども、大学の英知と学生ならではの若者の視点を生かしてモデルプランとして具体的な計画というようなことになってはいますが、メンバーとしては地域の若者とか商店街の方々はもちろん中にメンバーとして入っているんだろうと思いますが、その構成についてはどういう形になっているかお聞かせ願いたいと思っています。

(岩協会長)

はい。塩川部会長わかりますか。

(塩川第3部会長)

西新潟商工会長を務めております、その関係ですけれども、内容として今のところは、暖簾会という会がございます。このメンバーをメインとしてお願いしております。内野の3つの商店街の中で実際は駅前商店街しか活動していないものですから、今回から新しく暖簾会の組織ができました。これはまだ人数が少ないですが、人数を増やしてというような話はしました。

(岩協会長)

はい、大谷委員お願いします。

(大谷勇委員)

暖簾会と合同でやるというのはそれはそれでいいんですけど、暖簾会の中身が、いわゆる商店街の人だけで暖簾会に参加するという事なのか、あるいは地域を含めてその中に、暖簾会の中に地域の方々だけ、商店街だけではなくてそういう方がメンバーとして入っているか、そのあたりをお聞かせ願います。

(塩川第3部会長)

今のところ発足したばかりで、まだメンバーが商店街だけです。

(大谷勇委員)

できれば大学と暖簾会だけではなくて、その地域の方々からもメンバーに参加していただいてご意見を伺ったらいいのではないかと考えております。以上です。

(塩川第3部会長)

参考にさせていただきます。ありがとうございました。

(岩協会長)

内野の田村委員、コミ協等々から委員のお願い事がいくかと思いますがよろしくお願ひします。ということで、大谷委員の意見を参考に検討したいと思ひます。他にご質問、ご意見等ございますでしょうか。冒頭にお断りしておきますけれども、これは西区拠点商店街活性化とは異なりますので、誤解しないようにお願ひします。それでは、この企画書ですすめてよろしいでしょうか。

— 異議なし —

(岩協会長)

はい、ありがとうございました。それでは部会長を中心に準備等々お願ひいたします。続きましてプロジェクトチームの報告です。プロジェクトチーム1、お願ひします。

(大谷一男プロジェクトチーム1部会長)

自治協議会の広報紙の編集・発行を担当しております。プロジェクトチーム1の会議概要をご報告いたします。5月16日に第2回の会議を行いました。出席者は会議概要に記載のとおりです。区民から第17号への意見が寄せられておりましたので、その件と、第18号の作成状況の確認を行いました。区民からのご意見は、自治協議会事業の27年度の総括をわかりやすく広報してほしいという内容でありました。第17号は、そのような趣旨で各部会の各事業の振り返りを掲載いたしました。第18号では、自治協議会の提案事業について、企画から事業評価までのプロセスをわかりやすく紹介しますので、ご意見を寄せられた方におかれましては、より理解を深めていただけるのではないかと考えております。いずれにいたしましても、貴重な意見として受け止めさせていただきました。

なお広報紙に関連しまして、自治協議会の運営に関わる意見も寄せられましたが、その件については、運営会議に報告することにいたしました。

続きまして、第18号の作成状況の確認を行いました。1面は、原稿とレイアウトは作成済みで、主に色づかひの配色について議論をさせていただきました。2・3面については、今年度の自治協議会提案事業の中から、小・中学校における防災に関する公開授業、スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業、商店街活性化に向けた研究・実践に焦点を絞り、原稿につい

での意見交換を行ったところであります。レイアウトについては作成済みであります。それから4面は、うちのコミ協、とっておきの私の一枚、知っトクなっトク街のタネ、それと9月11日の高齢化をテーマにした講演会のお知らせを掲載することにしております。次回の会議は6月10日で、校正を繰り返しながら校了は6月16日を予定しております。自治会長への配布は6月24日を予定しております。以上、報告といたします。

(岩協会長)

はい、ありがとうございました。ただいまの報告についてご意見、ご質問等はありませんでしょうか。なければ続きまして、プロジェクトチーム2です。お願いします。

(渡邊正友プロジェクトチーム2副部長)

プロジェクト2について報告させていただきます。所管分野は、西区アートフェスティバルの企画・実施に関する事項を検討する、そして実施するチームでございます。第2回の会議を5月10日に行いました。出席者は記載のとおりです。内容といたしましては、10月23日に黒崎市民会館で行われる第4回西区アートフェスティバルにおける音楽・芸能部門の出演団体についての検討を行いました。学校等につきましては出演団体候補について打診した結果を踏まえて、同じ学校に偏らないようにと再検討を行ったところでございます。それから公民館から出演していただく団体につきましては、5月末までに各公民館にて応募受付を行いまして、6月の部会で選出することとしました。その他、前回決めたイベントの目玉となるような特別出演枠につきましては、新潟大学の専門の教授などにご出演いただくことになりました。チェロ奏者です。それから、アート展示部門の出品内容についてですけれども、工芸作品等の出品者については引き続き検討をいたしまして、6月の部会で決定する予定となっております。それから、イベント名の副題についてです。今年度からの音楽・芸能部門の発表に加えて、アート作品等の展示まで幅広く行うことと同時にアート展示の方を強めるとそういう意味合いを含めまして、イベント名を「第4回西区アートフェスティバル—区民の力、地域の宝—」というふうにしてチラシや看板等に表示することとしました。参考までに昨年までは副題を一音楽の力、西区の宝—というふうにしておりました。また、仕様書につきましては、来場した際のワクワク感を演出するために、入場口にバルーンアート等によるアーチを設置するということを盛り込むことにいたしました。その他、委員から意見が出されて、風船による垂れ幕などがあるといいのではないかという意見なども出ていました。次回の第3回は6月7日に行う予定となっております。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。プロジェクトチーム2の報告について何かご質問、ご意見等ありませんでしょうか。私、先日、黒崎の館長さんにお問い合わせ等をお話しました。これ

4回目ですよね。そうするとどうしてもマンネリ化しやすいと。そこで何か一つキーになるものがあるともっともっと誘客になるんじゃないかと雑談の中でお話していましたが、今回イベントの目玉となるような特別枠ということで、新大の専門教授のチェロということで、良かったなと思っております。また、皆さんいろんな意見等々ありますけれどもよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは部会の報告は以上でございます。

< 2 議事 (2) 西区自治協議会へのご意見・ご感想について >

(岩協会長)

続きまして議事の(2)「西区自治協議会へのご意見・ご感想について」でございます。事務局から説明をお願いいたします。

(事務局：堀企画係長)

それではご説明いたします。資料2をご覧ください。前回の自治協議会を傍聴いただいた方から提出されましたご意見の内容でございます。部会名が「部会1」や「プロジェクト1」などの数字となっており、何を行う集まりなのかが分かりづらいため、会議概要等の資料にも記載していただくと分かりやすい、といったものでございました。こちらにつきましては、先日開かれた運営会議で早速ご議論いただき、今ほどご覧いただきましたように、各部会の概要等の資料に、部会名だけでなく、所管分野の内容について要綱の規定に合わせて記載するというところで改善させていただくこととしました。ご意見に対する回答は不要とのことですが、内容は公開しても良いとのことですので、改善状況とあわせて、HP等で公表させていただきたいと思っております。以上で、説明を終わります。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの事務局の報告について、皆さま方ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。今の説明のとおり傍聴の方から意見があったということで、良い意見は取り入れていきたいと思ひます。

< 3 報告事項 (1) 平成 27 年度区長マニフェスト (重点取組事項) にかかる評価について・(2) 平成 28 年度区長マニフェスト (重点取組事項) について >

(岩協会長)

ここからは報告事項です。(1) 平成 27 年度区長マニフェスト (重点取組事項) にかかる評価について及び、(2) 平成 28 年度区長マニフェスト (重点取組事項) について、区長から続けて説明をお願いいたします。

(眞島区長)

平成 27 年度の区長マニフェストにかかる評価ということで、ご説明させていただきます。

はじめに区政運営にかかる評価の仕組みづくりについてご説明いたします。

新潟市の「行政改革プラン 2013」に基づく、区政運営にかかる評価の導入を、平成 26 年度から、試行的に実施しております。

本日は、27 年度に策定した西区長マニフェストについて、その実績を自己評価いたしましたので、区自治協議会の皆様よりご意見をいただき、今後の事業実施や、29 年度予算編成の参考にしていくものです。なお、自己評価にあたっては、「区ビジョンまちづくり計画」の「第 1 次実施計画」の各事業の進行管理も併せて行っております。「第 1 次実施計画」の進行管理状況につきましては、本日お手元に「進行管理表」として配布させていただいております。大変数が多く、また主な事業がマニフェストと重複してございますので、後ほどご覧いただければありがたいと思います。取組み内容など詳細についてご質問等ございましたら、いつでも担当課までお問い合わせください。

それでは、資料 3-1、平成 27 年度西区長マニフェストをご覧ください。併せて、重点取組みの各指標の達成状況をとりとまとめた資料 3-2 もご覧いただければと思います。27 年度の西区長マニフェストとして、5 つの取り組みを重点的に実施いたしました。各々の取組事項につきまして、事項ごとに結果をまとめてあります。1 つめは「人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまちづくりの推進」です。2 ページをご覧ください。取組結果というところがあります。そこに設定数と達成数がありますが、設定した指標は 7 つで、うち達成したものが 5 つです。高齢者などが安心して生活できる仕組みづくりとして、高齢者世帯への訪問などを実施しました。高齢者を地域で支えるモデル事業については、支え合いのしくみづくり会議、いわゆる協議体の設立を優先したことから、西区だけでなく、全市的にモデル事業の募集を行わなかったため、目標達成に至りませんでした。それから地域と連携して取り組む健康づくりや、子育て支援の取組みについては、講習会の開催など、目標をすべて達成しました。地域の避難マップづくりについては目標数を達成しました。続いて、今後の方針といたしまして、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、現在、地域の支え合いの仕組みづくりとして、区レベルの第 1 層の協議体を設立しておりますが、今後は、コミュニティ協議会などを構成員とする日常生活圏域の第 2 層の協議体設立に向けた取組みを進めるとともに、見守り活動や生活支援のモデル事業を実施する団体への支援を図ってまいります。また、孤立の恐れのある高齢者世帯については、民生委員や地域包括支援センターなどと連携し、引き続き訪問活動により、必要な支援に結びつけてまいります。健康寿命の延伸と介護予防を進めるため、高齢者体操自主活動グループの育成や、自治会や地域の茶の間などへ出向いての健康づくりの取組みを一層進め、日常生活に根付いた健康的な生活習慣の定着を推進していきます。子育て中の親の支援については、さらにプログラムの会期数の増加や、乳幼児期から小学生までの切れ目ない子育てプログラムを提供してまいります。地域防災力の強化に向けては、地域の避難マップ作成に引き続き取り組み、単独自主防災組織の結成についても、防災活動のための資機材の提供など、支援を継続していきます。

次に、3 ページ「都市と農村が融合するまちづくりの推進」です。首都圏での西区特産物のPR、イベントの開催により、くろさき茶豆やいもジェンヌなどの販売量等、すべての目標を達成しました。今後も、ネスパスや百貨店などで首都圏向けに、PRや販売促進を拡充しながら進め、「くろさき茶豆 夏の陣」を関係団体と引き続き連携して取り組むなど、消費拡大と商店街活性化に結び付けられるようにがんばっていきたいと思っております。また、農商工連携によるいもジェンヌの生産拡大支援や加工商品の開発支援、学校給食でのPRに引き続き取り組んでまいります。

次に、4 ページ「だれもが学び合える学術と文化のまちづくりの推進」をご覧ください。自治協議会提案事業として、皆さまよりご提案いただいた西区特産物や観光地を紹介するふれあいカレンダーの作成をはじめ、内野地区まちづくり人材の発掘・育成事業、「うちのDE アート」など、地域・大学との連携事業を実施し、各目標を達成しました。今後は、新たな取り組みとして、自治協提案事業における商店街等活性化研究・実践事業の検討をはじめ、事業効果が見込まれる分野で、積極的に大学連携を促進し、併せて、新潟大学が地域とともに進める「学外学修プログラム」にも積極的に関わっていきたいと考えています。

次に、6 ページ「豊かな自然と快適な住環境を大切にするまちづくりの推進」です。西区一斉クリーンデーへの参加人数、海岸保安林の保全・育成に向けた活動団体数、国道402号線の飛砂対策としての人工堤防築造延長につきまして、いずれも目標を達成しました。北国街道沿線の観光資源を活用した観光客誘致につきましても、まち歩きの実施回数は目標を上回ったものの、ボランティアガイドの案内人数は目標値に届きませんでした。また、佐潟の自然環境を活かした交流人口の拡大については、ボランティア解説活動の充実や水と土の芸術祭との連携などにより、目標を大きく上回りました。快適な住環境づくりとして、「西区一斉クリーンデー」については、今後もコミュニティ協議会や自治会等の協力を得て、より多くの参加が得られるよう進めていきたいと思っております。また、26年度から実施してきました飛砂対策の人工堤防の築造であります。砂を除く除砂作業が軽減したというような一定の効果を確認したところでありますが、今後も大学や国・県と連携して効果の検証を行いながら、必要な対策を講じていきます。保安林の松くい虫対策は、無人ヘリコプターによる薬剤散布、伐倒駆除を引き続き実施し、ボランティア団体等を支援するとともに、隣接するコミュニティ協議会等に対する保安林への理解を進めていきます。また、赤塚地域でのまち歩きやツアーの実施により、交流人口の拡大を図ることができました。そのほかに新たに実施した黒埼及び内野地域におけるまち歩きも好評を得たことから、引き続き地域の魅力を発信し観光客の誘客に努めます。

最後に8 ページをご覧ください。「地域と区役所が共に歩むまちづくりの推進」の取組結果です。区自治協議会広報紙の発行支援、コミュニティ協議会への事業支援など、すべて目標を達成しました。質の高い市民サービスの提供に向け、窓口改善活動の実施やスキルアップに向けた研修の受講により、窓口アンケートの目標値を達成しました。今後も引き続き、部会の運営支援や委員研修等による区自治協議会の活性化に取り組むとともに、

コミュニティ協議会の活動支援、自治会研修、地域活動への関心を高める講座を開催していきます。また、窓口対応の充実に向け、接遇に関する研修など西区独自の研修を継続して実施し、職員の資質向上・意識改革に向けた取組みを進め、市民サービスの向上を目指していきます。以上が27年度 西区長マニフェストの「取組結果」となります。

続きまして、28年度のマニフェストをご説明させていただきます。資料4-1をご覧ください。今年度のマニフェストは、区ビジョンまちづくり計画の実現に向けて、3つの取組みを重点的に実施します。具体的目標値を掲げた資料4-2も併せてご覧ください。1つ目といたしまして、支え合いのしくみと健康づくりの推進です。高齢者等が安心して生活できる支え合いのしくみづくり、高齢者の社会的孤立の防止、地域の避難マップ作成などに引き続き取り組めます。

次に3ページをご覧ください。2つ目は魅力あふれる食と農を活用した地域活性化の推進です。首都圏での西区特産品の知名度向上と消費拡大・商店街活性化、農業まつりによる都市と農村の交流推進、西区PR大使を活用するとともに様々な機会を捉えた区の魅力の発信などを行っていきます。4ページをご覧ください。3つ目は豊かな自然と環境を大切にすまちづくりを推進です。海岸保安林の保全・育成活動団体への支援、北国街道沿線、黒埼及び内野地域の観光資源を活用した観光客誘致、国道402号の飛砂対策の実施などに取り組めます。以上の3つが重点的な取組みです。各々の取組みは資料に記載のとおりです。

今後、各事業に取り組んでいくにあたり、区の皆さまと共に考え、目標の達成を目指していくことが何よりも必要と考えておりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

(岩協会長)

ありがとうございます。ただいまの区長の報告について、皆さま方ご意見、ご質問等はございませんでしょうか。はい、鍋谷委員。

(鍋谷委員)

鍋谷です。先日、バスでショッキングな出来事がありました。私は普段、青山からのバスを利用するのですが、おそらく認知症の高齢者の方が、バスに乗る際に靴をお脱ぎになりました。私もはっと驚いて見ていると、次にお乗りになった子ども連れの男性が、その靴を蹴飛ばされました。それを見て2度びっくりしました。どうして蹴飛ばされたのかわかりませんが、私は慌てて靴を拾いにいきました。一方で、別の日にはこのような場面に会いました。運転手さんがアナウンスで、「車椅子の方がお乗りになりますので、しばらくお待ちください」といったアナウンスがありました。すると、私は恥ずかしながら動けずにいたのですが、中学生がぱっと立ち上がり、車椅子のシートの確保を手際よくしておりました。なんて素晴らしいことだろうと、本人に尋ねると五十嵐中学校の2年生でした。名前も確認しました。私も嬉しくなって、すぐに校長先生に電話をしました。その後すぐ

に校長先生から電話があって、その生徒を校長室に呼んでお話をした、と連絡がありました。ただ、後で思うと、コミュニティ協議会にもお話しすれば良かったなあと感じております。そうすればコミュニティ協議会の広報紙などで取り上げて、発信していただけたかもしれません。また、大学との連携についてです。私は新潟大学の図書館を週に1回は利用させていただくのですが、平日は朝8時半から夜10時、土曜は10時から夜10時、日曜は10時から17時まで開館しており、大変素晴らしい環境と蔵書が整っています。これも西区の宝であると感じています。新潟国際情報大学と合わせて、西区の広報紙などで発信する場があっても良いのではないかと思います。以上です。

(岩協会長)

鍋谷委員から、西区の素晴らしい力のお話をいただきました。他にご意見・ご質問はありませんか。

(三富委員)

公募委員の三富です。平成27年度の主な取り組みの指標達成状況で、設定数7、達成数5とあるのは、一覧表資料3-2の評価、未達成、達成とある数でよろしかったですね。すると、27年度マニフェストでは、25項目あるのです。しかし、先ほど市の方針とありましたが、28年度マニフェストでは、大きな取組みが5つから3つになったため、指標数も19項目へ減っています。区長も最後の任期を迎え、意欲が衰えた訳ではないと思いますが、なんだか寂しい気がします。この点、気にならないかなと。この他にも取り組んでいくことがあれば、区長からお聞きしたいと思います。

(岩協会長)

区長、お願いいたします。

(眞島区長)

28年度のマニフェストは3つの大きな柱に絞って編成させていただきました。そのため、指標数は少なくなっておりますが、決して、意欲が衰えたとかいう訳ではありません。むしろ今もやりたいことがたくさんで、意欲満々でございます。西区では、4年制の大学など立地していることが、他の区にはない大きな特徴であり、力でございますので、様々な事業において、大いに大学と連携して取り組んでいきたいと思っています。

(岩協会長)

他にご意見等はありますか。

(村井委員)

青山コミ協の村井です。まず1点目です。以前にも要望しましたが、高齢者が住み慣れた地域で安心できる仕組みづくりにおいて、西区が25・26年度と、新潟大学とも連携して取り組んできた高齢者の見守り、訪問事業について、何か良い資料とかデータとかがまとまっていれば、自治協でも回すなどご報告いただきたい。

次に、介護保険法が27年度に改正されましたが、65歳以上で介護保険を利用されていない方に係るアンケート、チェックリストでしょうか、調査は、65歳、67歳と奇数の年齢の年にやっていると聞いています。しかし、29年度からは新潟市でも新しい総合事業が開始され、やり方も変わるとも聞きますが、どのような状況であるのか。

そして、要支援1・2の生活支援などサービスについて、新潟市でも29年度から地域包括ケアで取り組んでいくことになるが、私も先日、第2層の協議体の会議に参加したが、コミ協の福祉部長の方など同じような面子ばかりで、会長や実際に担う者がその場に出てきていない。第1層の協議体の状況や、制度、具体的なサービスの内容などもよくわからないので、案文を示して欲しい。地域もどのように取り組んでいけば良いのか。自治協メンバーとしても把握していく必要があると思うので、具体的に報告をしていただきたいと思うわけであります。以上3点について教えていただきたい。

(眞島区長)

西区で取り組んでいる孤立ゼロ作戦訪問事業の25・26年度の実績については、私と村井委員が生憎欠席でしたが、前回の会議でご報告させていただいたとのこと。必要であればまた改めてお届けします。介護保険制度の改正に係るご質問については、健康福祉課長よりご説明いたします。

(小関健康福祉課長)

支え合いの仕組みづくりについてですが、第1層の協議体が昨年設立され、第2層の協議体は立ち上げ準備の会議が始められたところです。新しい総合事業につきましては、市全体について、福祉部において、サービスの内容、基準、単価などの検討を行っておりますので、この場ではご説明ができません。また、詳しい状況をご説明できるようになりましたら、時期を捉えてご報告させていただきたいと思っております。

(岩協会長)

先日の市長のまちづくりトークでもありましたが、国の制度設計も動いている中で、市も並行して検討を進めているということであります。この場で明確なご回答は難しいかと思っております。

(眞島区長)

市においても、今まだ検討を行っている状況であり、本庁担当課とも調整いたしまして、自治協の皆さまにもご説明できるよう頑張っていきたいと思ひます。

(岩協会長)

村井委員よろしいですか。それでは、他にご意見のある方。

(長谷川委員)

平成 28 年度西区長マニフェスト「豊かな自然と環境を大切にすまちづくり」4 ページです。防砂林の松くい虫対策として、「ボランティア団体やコミュニティ協議会などの保安林保全活動への支援を引き続き行います」とありますが、草刈りなど助成金がなければ地域は活動できません。草刈機を動かすには結構たくさんガソリンを使うのです。是非、引き続き、地域、ボランティア団体へ補助金を恵む、支援をお願いいたします。

(眞島区長)

恵むではありませんが、引き続き支援を継続してまいりますし、地域と互いに力を出し合っ合って取り組んでいきたいと思ひます。

(坂井委員)

公募委員の坂井です。評価についてですが、色々取り組んであつて頑張っているのは分かるのですが、指標の目標数に対して何個達成した、すべての目標数を達成したなど、こういう記載が続くだけでも。例えば窓口アンケートの点数が目標を上回った、5 点満点が増えたのだらうと思ひけれども。実施計画の 15 ページ商店街の活性化について。達成となっていますが、指標の達成数だけでなく、具体的に商店街がどのように良くなったのわかるような文章にして記載して欲しいと思ひます。今どこを直すというわけでない。

あと、資料 3-1 の 4 ページ、誰もが学び合える学術と文化のまちづくりの大学連携で、「新潟大学が地域とともに進める学外学修プログラムにも積極的に関わっていく」とあるのですが、学修の「修」の字が何故「習」ではないのかと。実は国のある文書で「修」の字が使われていて、初めは誤字かと思ひましたが、多く使われていてそうではないということ。習うのでなく修めるといふ意味合いなのかな。鍋谷先生にも、永吉先生にもお聞きしたのだけれどもわからない。どういう意味合いなのか、区役所でわかったら教えてください。

(眞島区長)

はい。評価については、次の記載にあつて、そのように意識していきたいと思ひます。もう一点、学外学修プログラムとしては、今年の秋頃を目途に学生が地域で学んでいくと

のことで、当初は1年生を想定し、今後広げていく予定とうかがっております。一方で、西区では新聞報道もありましたが、ゼロ免課程廃止によって、これまでどおり多様な人材の輩出が確保されるか注視しています。学修については、大学側が用いられている言葉で、何故かはわかりません。今度の機会にお聞きしてみたいと思います。

(岩協会長)

大学の件は、この年度末か秋頃でしたか、コミュニティ協議会会長会議にも大学側から説明があったものですね。学生が地域に出ていく。新聞にもありましたね、創生学部でしたか。

(坂井委員)

以前にも話しましたが、始まりは文科省の改革「知の拠点整備事業」によるものです。国では大学を「世界水準の教育研究の展開拠点」、東大や京大のことと思いますが、全国的な研究教育拠点、地域活性化の中核拠点の3つにわけられるものです。大学を3つに分けるのは、私はあまり賛成できないのですが。それはともかくとして、全国のほとんどの大学は地域の中核拠点と位置付けられています。地域の活性化に貢献する計画がなければ国から予算がとれない。こうした中において、予算など活用できるものは大いに活用した方がいいと思っています。

(岩協会長)

他にご意見・ご質問はありませんか。

(広瀬委員)

公募委員の広瀬です。まず一点、先ほどの鍋谷委員の新潟大学図書館については、2年前に自治協広報紙でも広報しておりますのでご参考です。次に、2点お聞かせください。1つ目は、支え合いのしくみと健康づくりの推進で、地域の避難マップデータ完成数とあり、27年度は避難マップを12地区つくって達成とあるのですが、28年度はなぜ9なのでしょう。西区全体ではどのような状況なのでしょう。安全というか。2つ目は、区ビジョン実施計画の子育て支援事業で、保育所や放課後児童クラブの整備とあって、28年度はどこで何か所予定されているのか教えてください。

(本多副区長)

避難マップについては、西区全体で26年度に作成の希望についてアンケートを行い、27年度から手を挙げていただきました。27年度に12地区行い、28年度で9地区、29年度で終える見込みとしております。

(小関健康福祉課長)

放課後児童クラブの整備について、28年度では、大野小学校のひまわりクラブの整備を予定していると聞いています。1か所です。

(岩協会長)

それでは、最後に1名程度、ご意見・ご質問がある方はいらっしゃいますか。それでは広瀬委員。簡潔明瞭をお願いします。

(広瀬委員)

はい。最後に1つだけ。区ビジョン進行管理の2ページ、子ども学習支援事業についてです。参加者数が減少して未達成とありまして、今後も参加の呼びかけを行うとあります。色々取り組まれているものと思いますが、子どもの学習機会はどうなっているのでしょうか。

(萩野保護課長)

この事業は、低所得世帯を対象とした子ども勉強会を実施し、就職など自立につなげていくものです。平成23年度は生保世帯のみが対象で、平成27年度から低所得者世帯に拡大しております。経済状況など生活保護の受給状況によって、参加者数は増減いたしますので具体的な数値は掲げておりません。今年度は参加者数としては減少しましたが、内容の充実もあり、登録いただいた子ども1人ひとりの参加回数は増加し、学習機会は増加したものと捉えています。今後も、事業の趣旨の説明を行い、参加を呼び掛けていきたいと思えます。事業縮小というものではありません。

< 4 その他 >

(岩協会長)

次第の最後、その他でございます。まず、私から皆さんに連絡がございます。4月の本会で教育支援センターから報告していただいた、区教育ミーティングについてです。こちらの開催日程について、教育委員会事務局から1回目は6～9月までのいずれかの本会の会議日に合わせて、2回目は10月～翌1月の第2部会の会議開催日に合わせて行いたいという話でございました。これについて運営会議で検討した結果、1回目については、例年本会の議題が少ない6月に、2回目は11月に開催することとなりました。2回目のテーマ決定については、第2部会の郷部会長のもと、ご検討をお願いしたいと思います。以上です。事務局から何か報告はありますか。

(事務局：堀企画係長)

それでは何点かご連絡させていただきます。まず、次回会議の開催日についてご連絡さ

させていただきます。お手元の「平成 28 年度西区自治協議会 開催予定」A 4 資料をご覧ください。次回、第 3 回自治協議会は、6 月 24 日金曜日、午後 3 時からです。選挙の関係から、会場は、西区役所健康センター棟 3 階大会議室となります。本日と会場が異なりますのでご注意ください。なお、会場変更に伴い、皆様のお席の位置の調整が必要となりますので、通常より早めに、会議開催のご案内をさせていただきます。また、出欠のご連絡についても、早めに設定させていただきますので、よろしく願いいたします。会議の議題等、詳細につきましては、運営会議と調整させていただき、あらためて皆様へご案内させていただきます。

また、同日午後 1 時 15 分より、区教育ミーティングが開催されます。会場は同じく、西区役所健康センター棟 3 階大会議室です。こちらにつきましては、本日ご案内を配布させていただいておりますので、ご確認のうえ、6 月 13 日（月）までに出席のご連絡をお願いいたします。

続いて事務連絡です。本日の会議資料と併せて事前にお送りしておりました、区自治協議会委員研修会の出席票について、提出がまだの方はこのあと、事務局までお願いいたします。なお、本日のご提出が難しい方については、6 月 1 日（水）までに F A X でご提出いただきたいと思います。事務局からは以上です。

（岩脇会長）

ありがとうございました。他に委員の皆様方、何かございますか。それでは私から。7 月 6 日の委員研修会についてですが、西区の昨年の出席率は 5 割以下でございました。他の区では 7 ～ 8 割くらいのところもありました。是非、皆様方にご出席いただきますようお願いいたします。

それではこれで平成 28 年度第 2 回西区自治協議会を閉会いたします。ありがとうございました。